

# 九州地方開発促進計画（第五次）：アジアと一体化して発展する個性ある九州（目標年次：概ね2010～15年） 概要

< 新たな発展の基本理念・基本方向 > < 4つの重点課題と「参加と連携」による対応 >

九州地方は、21世紀の我が国の新たな発展を切り拓くフロンティア

九州の強い個性とポテンシャルを戦略的に発揮し、4つの重点課題への対応を通じ、長期的に、九州を覆う太平洋新国土軸や日本海国土軸、西日本国土軸の西日本における結節点となり、自然、歴史、文化、技術が融合する美しいガーデンアイランドが形成

変化に富んだ美しい自然と魅力ある相当規模の都市が共存し、ゆとりと利便性をあわせ享受することができ、人々の価値観に応じて多彩な生活や就業が可能な九州

相当規模の都市と豊かな自然が織りなす多様な地域が連携・交流する九州を創造

我が国第4の大都市圏の可能性を秘める福岡・北九州都市圏を始め、高次都市機能の集積を可能とする相当規模の都市が比較的多い地域特性を積極的に生かし、九州各地域が全体的に質が高く選択可能性の高い多彩なライフスタイルが可能となる社会の創造を目指す。

自然と共に安全で安心して暮らせ、誇りが持てる生活圏を創造

知識集約化に向けて産業の高度化を促進

歴史的・文化的繋がりも生かし、アジアとの一体的発展に向けた国際交流を先導する九州を実現

九州域内の身近な存在としての個性的で魅力的な都市圏の形成

多自然居住地域における都市的利便性の向上

多様な地域間における連携・交流の推進

連携・交流を支える交通・情報通信ネットワークの形成

広域的な連携による安全で安心できる生活圏づくり

九州の自然豊かな環境に親しみ、継承していく地域づくり

九州各地の個性を生かした魅力ある地域社会づくり

食料・木材供給基地としての新たな展開

九州の新たな発展を担う産業の創出・集積等の促進

知的資本の充実と産学官の連携強化

アジア経済との連携・交流の促進

九州の顔が見える多様な国際交流・協力の推進

国際交流・物流を支えるアジアへのゲートウェイ機能の充実・強化

・地域の自立的発展の拠点を九州域内にバランスよく形成することを目指し、福岡・北九州、熊本、鹿児島、長崎、大分、宮崎、佐賀の中核・中核都市圏が、相互に機能分担と連携の下、規模と特性に応じて都市機能を強化  
博多湾東部、八幡東田地区、長崎港湾地区、熊本駅・大分駅周辺等の都市整備、鳥栖北部丘陵等の新都市開発、コンベンション機能の強化（福岡、宮崎）、都市高速道路・地下鉄等の整備、公共交通機関の利用促進、錦江湾のウオーターフロント整備等魅力的な都市空間の形成、等

・中核・中核都市圏以外の中小都市と農山漁村等の地域において、「多自然居住地域」を九州の各地域に創造  
その拠点としての地方中小・中心都市の都市機能の充実・強化（地方拠点都市地域の整備等）  
離島・半島地域等の利便性の確保・向上、等

・地方中核・中核都市圏間を中心とする地域連携の展開：  
九州北部地域、東九州地域、九州中央の諸都市が縦に連なる地域  
・地方中核・中核都市圏と多自然居住地域間を中心とする地域連携の展開：  
中九州地域、有明海・八代海の沿岸地域、東シナ海に面する地域、西瀬戸地域  
・多自然居住地域間を中心とする地域連携の展開：  
南九州地域、南九州から南の海洋に連なる地域、九州中央山岳部の地域  
・流域連携（菊地川、大野川等）や県境を越えた地域間の連携・交流（北部九州、中九州、南九州の県際地域）

・高規格幹線道路（九州横断自動車道、東九州自動車道、西九州自動車道、南九州西回り自動車道等）、地域高規格道路（有明海沿岸道路、中九州横断道路、西彼杵道路、南薩縦貫道、熊本天草幹線道路、宮崎東環状道路、北薩横断道路、中津日田道路、島原道路、佐賀唐津道路、熊本環状道路、大隅縦貫道、都城志布志道路等）の整備  
・九州新幹線の整備、地域連携軸の展開を支える幹線鉄道の機能強化の検討  
・新北九州空港、新種子島空港等の空港・港湾の整備  
・九州を縦貫する地域の交流・連携の強化のための交通体系、四国との広域的な連携を図るための交通体系の検討  
・豊予海峡道路、関門海峡道路、島原・天草・長島架橋の構想  
・高度情報通信基盤の整備  
等

・安全の確保：災害に強い地域づくり、水資源の安定的な確保と水の有効利用、等  
・安心の確保：福祉のまちづくり、福祉・介護等のサービスを支える人材の育成（延岡市の大学整備等）、等  
・広域連合の設置等による広域的対応の推進、流域圏に着目した国土の保全・管理の取組（耳川等）、等

・世界遺産屋久島等の生態系や自然景観の保全、雲仙・普賢岳の自然環境の再生・修復、環境への負荷の少ない社会の構築（北九州、大牟田地域のエコタウンプラン等）、環境との共生も重視した地域づくり、等

・多様な主体の参加の下、地域の創意と工夫に基づく先導的な地域づくりを推進し、多自然居住地域を創造：  
佐賀農業・農村むらぐるみ発展運動、島原地域再生行動計画に基づく地域の復興・振興、北松浦半島における都市連携、長崎街道を媒介とした地域づくり、熊本の卓越のムラづくり、宮崎のフォレストピア構想、鹿児島の新しい田園社会の創造、大分の適正共生社会の創造、等  
・吉野ヶ里歴史公園の整備等歴史的風土の保全と活用、個性豊かな新たな文化の創造と情報発信、等

・佐賀中部地区の総合農地防災事業等生産基盤の整備・高質化、総合的な技術拠点の整備等新たな技術の導入・活用、宮崎等での林業と木材産業の一体的な活性化、担い手の確保と育成、他産業との複合化の推進、等

・知識財産等の立地促進と基盤整備、基盤的技術産業集積の活性化（北九州地域、熊本地域）  
・情報通信、医療・福祉、環境・リサイクル、航空宇宙、海洋関連等の新しい産業の振興・育成  
・家具・窯業等地場産業の高度化、観光産業の振興、等

・研究開発機能の充実・強化と人材育成、産学官の連携強化、起業化の環境整備  
福岡・佐賀の7拠点地域によるネットワーク型の学術研究ゾーンの形成、等

・アジアにおける国際的な研究開発拠点の形成・強化、等  
九州北部の学術研究交流拠点、海洋総合研究（長崎）、生命科学（熊本）、火山（鹿児島）分野での取組

・福岡市のアジアムンス等の定着を生かし、学術、文化、スポーツ、観光等の幅広い分野で国際交流・協力を推進  
太宰府市の特色ある博物館等交流拠点の整備、北九州市の環境技術移転等の国際貢献活動、等  
・国際感覚豊かな人材の育成（アジア・太平洋地域の人材育成拠点としての大学整備（別府市）等）、等

・グローバルゲートとなる国際空港機能の強化方策の調査検討  
・国際的な中核拠点機能を強化する北九州港、博多港の整備を始め、志布志港、伊万里港、佐世保港、八代港、細島港、中津港等の整備、有明海・八代海沿岸地域におけるアジアとの交流・物流拠点の機能強化  
・FAZ計画の推進（北九州港、長崎空港、熊本港、大分港を拠点）、等

（注）本資料は、計画のポイントを整理したものであり、例示等、引用に当たっては計画本文によりたい。